

報道発表資料 : 令和5年1月16日(月)

北九州市環境局産業廃棄物対策課 電話:093-582-2177

課長:川崎、除草指導担当係長:梅津



環境未来都市 北九州市

©Kitakyushu City of Kitakyushu

## 北九州市内海岸へのポリタンクの漂着について（第2報）

1月13日(金)に、本市若松区の海岸に計20個のポリタンクの漂着を確認、回収しました。また、昨年12月15日(木)に同海岸で回収したポリタンクの内容物の分析結果が出ましたので、下記のとおりお知らせします。

今後も季節風・海流の影響等により、本市海岸へのポリタンクの大量漂着が懸念されます。

本市では、北九州市危機管理マニュアル「危険物品等の大量漂着対策マニュアル」に従い、海岸線のパトロール等を行い、「市民の安全の確保」の取組を実施しています。

### 記

#### 1 若松区北西部海岸へのポリタンクの漂着について

- (1) 回収日 令和5年1月13日(金) 計20個回収
- (2) 発見の経緯 本市環境局職員がパトロール中に発見
- (3) 回収物 今回発見、回収したポリタンクは、昨年度の漂着物と同形状(約20L、青13個、白4個、灰3個)

※回収ポリタンクのうち、5個にハンゲル、1個に中国語の表記があった。  
酸性を示す液体は入っていなかった。

#### 2 発見した場合の取扱い

漂着したポリタンクには有害な液体や物質が含まれているおそれがあります。これらの漂着物を発見しても、決して手を触れずに北九州市環境局産業廃棄物対策課まで(TEL:093-582-2177)ご連絡ください。



【漂着したポリタンク(令和5年1月13日)】

【今シーズンの漂着状況】

日付	漂着場所	漂着数 ( )は内数					
		ハン ゲル	中国語	英語	日本語	不明	合計
(既報) 12月15日 (木)	若松区 北西部海岸 岩屋海岸、逆水を中心に点在	5	3	4	1	17	30
	容器内に有害な液体を含むもの	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)
(今回) 1月13日 (月)	若松区 北西部海岸 岩屋海岸を中心に点在	5	1	0	0	14	20
	容器内に有害な液体を含むもの	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
累計		10	4	4	1	31	50
	(内数)容器内に有害な液体を含むもの	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)

(参考) 過去のポリタンク漂着状況

年	漂着数	うち有害な液体含有数
平成20年2月～20年4月中旬頃	802 個	81 個
}	}	}
平成29年12月～30年4月上旬頃	162 個	3 個
平成30年12月～31年4月中旬頃	192 個	29 個
令和元年12月～2年4月中旬頃	127 個	12 個
令和2年12月～3年4月中旬頃	111 個	10 個
令和3年12月～4年4月中旬頃	196 個	11 個

### 3 令和4年12月15日に漂着したポリタンクの内容物の分析結果について

#### ■ 分析結果(分析機関:北九州市保健環境研究所)

pH(水素イオン濃度指数) <sup>注1)</sup>	1.1
塩化物イオン(g/L)	370
その他の陰イオン(g/L) (フッ化物イオン、亜硝酸イオン、臭化物イオン、 硝酸イオン、リン酸イオン、硫酸イオン)	ND(定量下限値未満)
鉛(mg/L)	0.026
ヒ素(mg/L)	0.022
クロム(mg/L)	0.078
マンガン(mg/L)	0.05
銅(mg/L)	0.011
亜鉛(mg/L)	0.25
モリブデン(mg/L)	0.009
ニッケル(mg/L)	0.043
鉄(mg/L)	2.1
その他の重金属類(mg/L) (カドミウム、セレン、アンチモン、ウラン)	ND(定量下限値未満)

注1)pH値は、100倍希釈して測定した値。

※ 分析結果から、ポリタンクの主な内容物は塩酸であると考えられます。また、重金属類も確認されています。

- 塩酸は、医薬品、食品、金属、電気電子工業などの原材料として、極めて幅広く使用されています。また、10%未満に希釈されたものは、トイレ用洗剤としても市販されています。
- 強酸性の液体で、目や皮膚に触れると炎症を起こします。臭気によっても、のど、鼻などの粘膜を刺激して咳が出ます。
- 金属を腐食します。塩酸自体には爆発性も引火性もありませんが、金属と反応した場合、可燃性の高い水素ガスが発生します。

このため、塩酸の取り扱いには注意が必要です。